



雷別で広葉樹の森林づくり!

9月27日(水)に、雷別地区自然再生事業地(標茶町雷別国有林)で、第2回「雷別ドングリ倶楽部」を開催しました。

この会は、高齢級のトドマツ人工林が気象害によって立ち枯れし、笹地となった箇所が広がっている雷別国有林をフィールドとして、平成19年7月から当センターと協働で森林再生(自然再生)に取り組んでいるボランティアの方々の集まりです。今回の「広葉樹の森林づくり」活動には、会員15名が参加し、ミズナラ・ヤチダモ・ハルニレ・カツラ計50本の植樹と共に、植栽木を野生生物の食害から守るため、保護管(ツリーシールド)の被覆を行いました。

参加者は、当センターから作業内容等の説明を受け、晴天の秋空のもと、鍬を手に植樹に取り掛かりました。準備した苗木は1時間程で植え終わりましたが、笹の根が密集している、植穴を掘るのに苦労されたようです。

その後、昼食の時間まで、今年度



▽植樹の様子



▽生分解性保護管組立

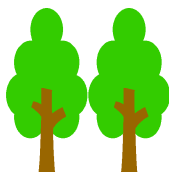


▽保護管設置の様子

からの新しい取組みとして、保護管の材料が土に帰る生分解性の保護管組立ての説明を行い、午後からは、保護管を植えた苗木に被覆していき、皆さんちよつと従来の保護管と勝手が違うので戸惑った様子で組み立てていきましたが、慣れてくると順調に作業を進められ、だいたい予定の時間で保護管の設置が完了しました。

森林づくり活動後には、当センター所長から、「植樹は、地球温暖化防止、SDGsの観点から大変意義のある活動であり、皆さんの貢献により植えられた樹木が順調に生長しております。誠にありがとうございます

ます。」等の挨拶があり、皆さん充実した表情で会場を後にし、帰路につきました。



普段余り来ない箇所見れて感動!

10月11日(水)に標茶町虹別で防風保安林*1見学と国有林の施業実行済み箇所の見学(間伐*2・主伐*3、箇所)、標茶町の観光名所でもある「多和平」で第3回「雷別ドングリ倶楽部」の秋の自然観察を実施しました。

会で植樹と併せ根釧地域の森林や景観の名所を巡る活動計画があり、今回の実施となりました。



▽防風保安林見学の様子

当日は、会員11名が参加し、朝と午後からは晴天でしたが、若干寒さを感じる天候の中、センター職員との若干の解説を交え散策しました。参加者からは、「普段余り来ないところを見れたのと森林の管理をちゃんとされているのを実感できました。」「多和平で景色がよく良かったです。」などの声があり満足されました。

次に、当センター所長から、「今年度の活動は、2月の来年度の計画を決める会を残すのみで、雷別地区自然再生事業地での植樹や自然観察など多くの会員の方にご参加いただきました。感謝申し上げます。」



▽間伐実行済み箇所見学の様子

来年度もより充実した内容で計画しますので是非ご参加をお願いいたします。」との挨拶がありました。また、参加者の方から、今までの植樹した箇所の生長状況など教えて欲しい旨ご意見がありましたので、次の第4回目の会合で結果を事務局より報告することとしました。

皆さん深まりつつある秋を満喫され、帰路につきました。

【用語解説】

***1** 防風保安林・強い風を防ぎ、和らげるための森林で、強風から私たちの暮らしだけでなく農地や道路なども守っています。



▽主伐実行済み箇所見学の様子

***2** 間伐・森林の成長に応じて樹木の一部を伐採し、過密となった林内密度を調整する作業です。間伐を行うと、光が地表に届くようになり、下層植生の発達が促進され、森林の持つ多面的機能が増進します。

***3** 主伐・材木を収穫するための伐採であり、更新（伐採等により樹木等が無くなった箇所に、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が変わること）を伴うものを指します。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。